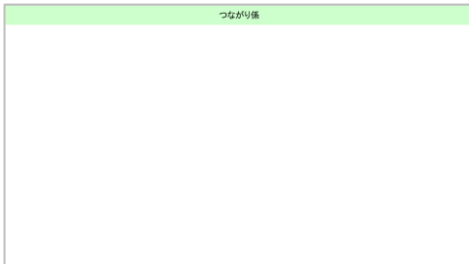
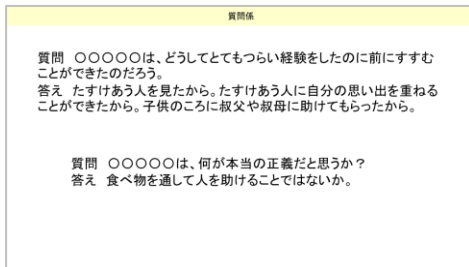
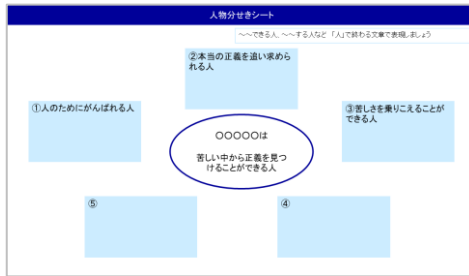


おすすめICT活用事例のご紹介

区分	学年	教科等	単元等	活用ソフト
小	5	国語	読む（物語文）「伝記を読む～リテラチャーサークル～」	プレゼンテーションソフト
授業内容	伝記に記された人の思いやことがらを深く理解しよう			役割ごとのワークシート
	準備： ・ワークシート用ファイルを準備する。スライド5シート目、6シート目の人物名の箇所（○○○○○）を伝記の人物の名前に変更する。 ・ワークシート用ファイルを班の数分コピーして共同編集できる場所に保存する。			
	授業の流れ： 1. 学習中の題材について班で役割分担をした上で話し合う「リテラチャーサークル」を実施することを確認する。 2. 班ごとに、次の役割分担をする。（変更可能） つながり係：伝記の人物と自分を比べて共通するところや違いを探す 質問係：話の中での疑問点を洗い出し、自分なりに答えを見つける 表現係：文章中の難しい言葉を調べ、教える イラスト係：文章から受け取った印象的な場面を絵で表現する 人物の人生像係：行動のきっかけとなる心の動きや、行動の意味について考える 3. 各自、自分の役割に従って決められた範囲を読む。自分の班のワークシートファイルを開き、読んで考えた事を担当する役割のワークシートに記録する。班になり、記録したことを共有しながら話し合いをする。読む⇒書く⇒話し合うを班で繰り返す。 4. 「人物分せきシート」のワークシートに、これまで話し合ってきたことのまとめとして「～できる人」「～する人」など「人」で終わる文章で①～⑤の枠に班で話し合いながら入力する。それらを踏まえて「○○○○○○は～な人」と一言で表現し、入力する。 5. 「人物分せきシート」に入力した内容をクラス全体で伝え合う。			  <p>人物分せきシート</p> 
ICT利活用のポイント	役割分担に応じて情報や意見を視覚的に整理することで、話し合いを活性化させます。			
おすすめポイント	出された意見を他の子供が発展させたり、皆で話し合うことで新たな発見をしたり、活動の中で伝記の中の人物をより深く理解することができます。この活動を通じ、子供たちが文章を深く読もうとするようになったという先生のお声があります。ワークシートをアレンジすることで、伝記以外の物語、説明文や意見文でも実施できます。			